

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【西浦和小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 国語「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」 算数「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」 <指導上の課題> 個人差が大きい。個に応じた指導を充実する必要がある。反復や振り返りの時間が十分に確保できていない。	授業の最初に前時の学習を振り返り、その内容を生かして本時の課題を設定する。【毎時間】 書き込み式ドリルやドリルパーク、スタディサプリの活用、学習スペースの利活用を通して、一人ひとりが課題に合った学習を進めていくための指導・支援を行う。【週に一度】 1人1台端末を活用し、学びのポイント「じ・し・や・く」を意識した児童主体の授業を行い、成果と課題を確認する。【1か月に1度】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」 算数「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」 <指導上の課題> 個人差が大きい。児童が自己表現する時間を授業中に確保することが必要である。	話を確実に聞くことを主眼に置いて指導を行う。また評価規程を児童に示すことで、児童主体の振り返りを充実させる【毎時間】。 ICTを効果的に活用し、児童の「わかった・できた・楽しい」を引き出す。また、魅力ある導入や必要感のある課題設定、解決の見通しをもって自力解決する場面の設定を行う【毎時間】。

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	国語では、言葉の特徴や使い方に関する問題において課題がみられた。解答類型を見てみると、推敲後の文章の違いを正しく読み取ることができていない児童が多く、文章を読み取る力が不十分であると考えられる。 算数では、場面の数量の関係を捉え、式に表す問題において大きな課題がみられた。問題文が長くなるほど正答率が低くなる傾向がみられることから、読書の量と質を向上させていくことが課題となる。 R7全国学力・学習状況調査の児童質問「課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組んでいるか」や「自分に合った教え方、教材、学習時間であったか」に対する肯定的な回答の割合がとて大きい。今後も児童主体の個別最適な学びを進めることができるよう、研修を積んでいく。
思考・判断・表現	国語の「書くこと」では、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わる書き表し方を工夫することにおいて課題が見られた。 算数では、「数と計算」「データの活用」の領域において課題にみられた。示された情報を読み取り、必要な数値を読み取って式に表す力が不十分であるとされる。また、学んだことを次の学習にいかしたり、実生活に結び付けたりすることにも課題がある。 R7全国学力・学習状況調査の児童質問「自分の考えがうまく伝わるように資料や文章、話の組み立てを工夫している」や「次の学習や実生活に結び付けている」に対する肯定的な回答の割合は高い傾向にある。これらでの手立てを引き続き実践するとともに、ICTを活用した振り返りを行い、次の学習に生かしていく。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	
	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能	B	学習内容を振り返り、それを生かして本時の課題を設定する流れは共通理解しているが、実践において課題がある。 書き込み式ドリルやドリルパーク、スタディサプリの活用を通して、一人ひとりの課題に合った学習に取り組ませることができている。 一人1台端末を活用し、学びのポイント「じ・し・や・く」を意識した児童主体の授業を行い、成果と課題を共有することができている。
思考・判断・表現	B	話を確実に聞くことに主眼を置いて指導することができている。評価規程を児童に示すことは概ねできているが、学校全体での実施には課題がある。また児童主体の振り返りは不十分である。 ICTを効果的に活用しての授業実践はできているが、魅力ある導入や必要感のある課題設定、解決の見通しをもって自力解決する場面を設定する取組はまだ不十分である。今後研修に取り組んでいく。

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)